

プラミペキソール塩酸塩 LA 錠 0.375mgMI
「DSEP」の生物学的同等性に関する資料

第一三共エスファ株式会社

【要 約】

プラミペキソール塩酸塩 LA 錠 0.375mgMI「DSEP」と標準製剤を、クロスオーバー法によりそれぞれ1錠（プラミペキソールとして0.375mg）健康成人男子に絶食時及び食後単回経口投与して血漿中プラミペキソール濃度を測定した。得られた薬物動態パラメータ（AUC、C_{max}）について90%信頼区間法にて統計解析を行った結果、両投与方法共に、ガイドライン*の判定基準に適合し、両剤の生物学的同等性が確認された。

※：生物学的同等性試験ガイドライン：平成24年2月29日付 薬食審査発0229第10号

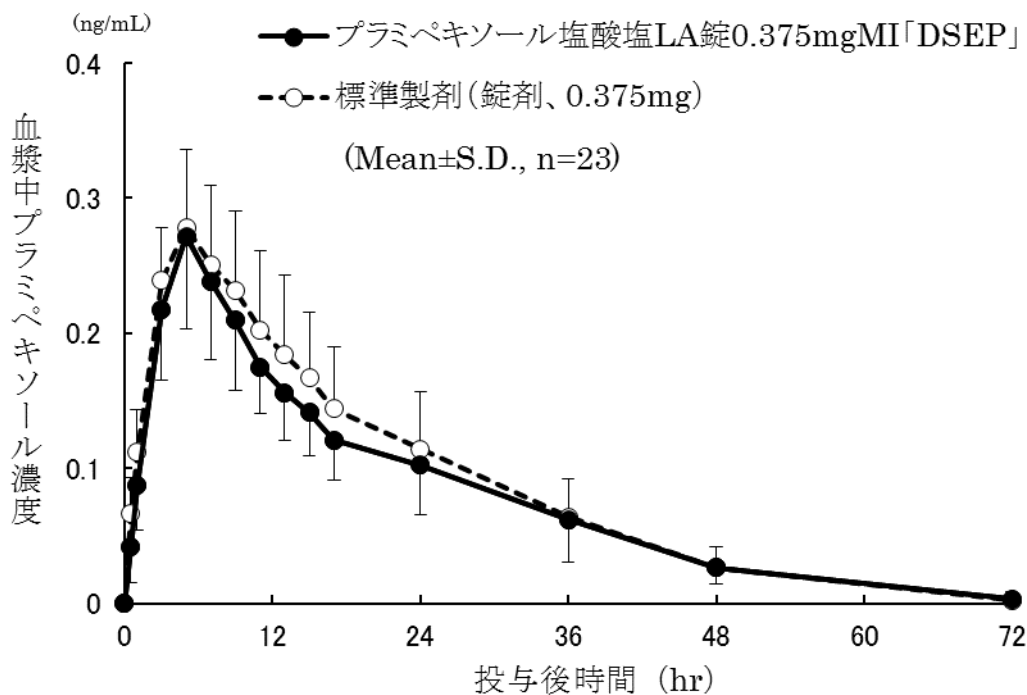
血漿中濃度比較試験

絶食時投与

プラミペキソール塩酸塩 LA 錠 0.375mgMI「DSEP」と標準製剤を、クロスオーバー法により健康成人男子23名に絶食時単回経口投与し〔投与量：1錠（プラミペキソールとして0.375mg）、水150mL〕、採取した血漿中プラミペキソール濃度を測定した。プラミペキソール濃度の測定結果に基づき、比較検討した結果、同等性評価における判定パラメータであるAUC₀₋₇₂の対数値の平均値の差の90%信頼区間はlog(0.8038)～log(1.0315)、C_{max}の対数値の平均値の差の90%信頼区間はlog(0.8714)～log(1.0547)であり、いずれも上記ガイドラインの判定基準〔log(0.80)～log(1.25)〕を満たしていた。

また、いずれの参考パラメータにおいても、薬剤間に有意差は認められなかった。

以上により、両製剤は生物学的に同等であると判断された。



血漿中プラミペキソール濃度推移

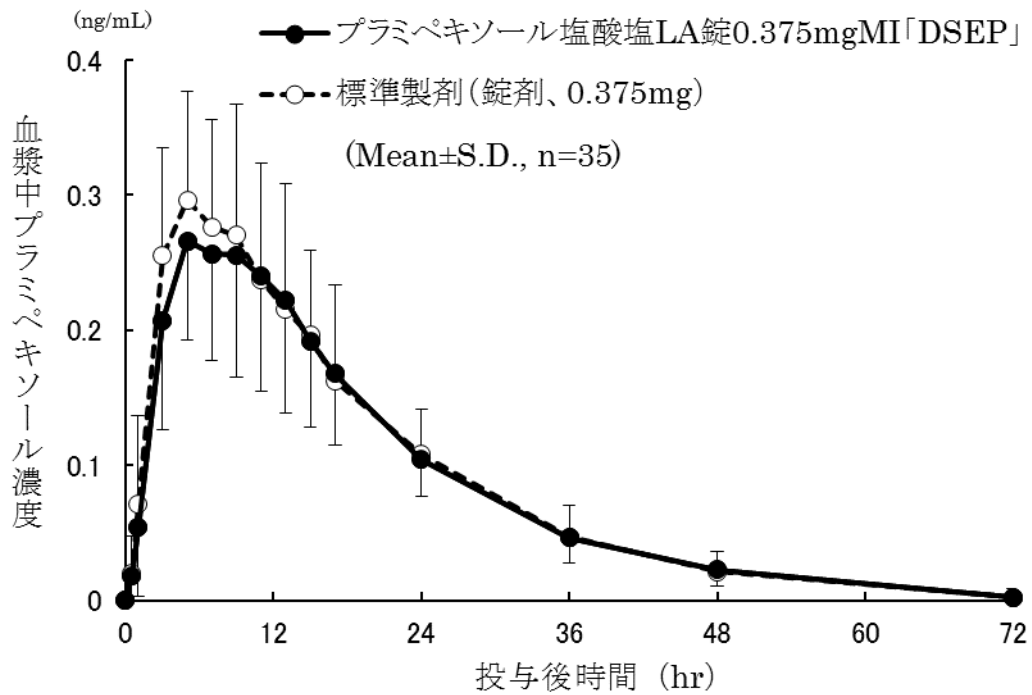
薬物動態パラメータ

	AUC ₀₋₇₂ (ng・hr/mL)	C _{max} (ng/mL)	T _{max} (hr)	t _{1/2} (hr)	Kel (hr ⁻¹)
プラミペキソール塩酸塩 LA 錠 0.375mgMI「DSEP」	5.719±1.385	0.2835±0.0648	4.9±1.4	11.6±2.6	0.0623±0.0132
標準製剤（錠剤、0.375mg）	6.295±1.449	0.2933±0.0582	5.2±2.0	12.2±3.3	0.0608±0.0156

(Mean±S.D., n=23)

食後投与

プラミペキソール塩酸塩 LA 錠 0.375mgMI 「DSEP」と標準製剤を、クロスオーバー法により健康成人男子 35 名に食後単回経口投与し〔投与量：1 錠（プラミペキソールとして 0.375mg）、水 150mL〕、採取した血漿中プラミペキソール濃度を測定した。プラミペキソール濃度の測定結果に基づき、比較検討した結果、同等性評価における判定パラメータである AUC_{0-72} の対数値の平均値の差の 90%信頼区間は $\log(0.9128) \sim \log(1.0248)$ 、 C_{max} の対数値の平均値の差の 90%信頼区間は $\log(0.8724) \sim \log(1.0006)$ であり、いずれも上記ガイドラインの判定基準 [$\log(0.80) \sim \log(1.25)$] を満たしていた。また、いずれの参考パラメータにおいても、薬剤間に有意差は認められなかった。以上により、両製剤は生物学的に同等であると判断された。



血漿中プラミペキソール濃度推移

薬物動態パラメータ

	AUC_{0-72} (ng·hr/mL)	C_{max} (ng/mL)	T_{max} (hr)	$t_{1/2}$ (hr)	K_{el} (hr ⁻¹)
プラミペキソール塩酸塩 LA 錠 0.375mgMI 「DSEP」	6.098±1.354	0.3017±0.0753	6.5±3.3	12.2±6.8	0.0668±0.0221
標準製剤（錠剤、0.375mg）	6.324±1.381	0.3205±0.0745	5.8±2.8	10.6±2.9	0.0700±0.0166

(Mean±S.D., n=35)